

ふみびと

第241号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

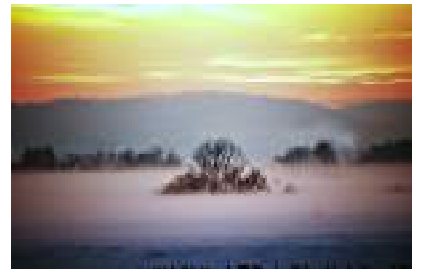
暖かさを求めて 寒空の下へ

寒さをスパイスに

「暖かさ」を感じる季節。関東では今年もあっという間に秋が過ぎ去り、コートがないと寒い季節に。沖縄では冬でも厚手のコートが必要ないくらいに暖かいそうですが、北海道では既に大雪が降るほどの寒さのようです。私は寒さは真夏の猛暑よりも苦手で、外に出るのも躊躇ってしまつてしまいますが、そんな冬だからこそ幸せに思えるのが「暖かさ」を感じられること。

一番快適な温度というのは22〜25なのだそうです。同じ室温でも他の季節には感じられない「暖かい」という感覚が冬の一つの楽しみでもあります。熱々の鍋だったり、温かいコーヒーだったり、あるいは人の温もりだったり、厳しい寒さの中でだけ感じられるひとときの幸せのような気がします。

地域によって寒さの度合いが違うので、きっと冬の過ごし方や、楽しみ方も異なるはず。皆さんにとつての冬の「幸せ」な瞬間はどんなときでしょうか。とある番組で、北海道では暖房を少し暑いくらいに効かせて、アイスを食べる人が多いと言われていました。そんなアイスの食べ方を楽しめるのも冬の厳しい寒さがあるからなのでしょう。



街が華やかに彩られはじめ、また一年を振り返る時期がやって来た。年明けには様々な目標があったはずだけれど、今はやり残したことが目につく。けれども、「来年はがんばろう」と、

今はじめしてみよう。とはいえ、一年の計画を残りの時間で片づけるには無理がある。ささやかなこと小さな、大きな一歩でいい。読みかけの本を手取るだとか、大切な人に心づかいのメッセージを送るだとか、本格的な運

動をするのは無理でも5分だけ散歩をしてみるとか。壮大な計画も結局は小さな一歩からはじまる。ただ、その一歩がなかなか億劫なのだ。踏み出してしまえばあとはスルスルと進んでいくことも多い。来年の自分に感謝されるよう、今のうちに最初の一歩だけを踏み出してみよう。



苦手な寒さを「暖かさ」を感じるためのスパイスにして、冬を楽しみたいものです。もちろん風邪を引かない程度の控えめのスパイスで。

1月の発送日
来年1月の発送は各回とも通常通り（15日、31日）の予定です。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

いつでも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務所に返信筒に流し込んでください。局宛封下交り済み。



次回発送日

12月の発送日

前号でお伝えいたしましたとおり、2回目（31日）の発送は、年賀状などの郵便事情の影響を考慮し、お休みとなります。それに伴いまして、より多くのお手紙を回送できるように、通常15日の発送を**12月19日**に変更させていただきます。送りたいお手紙がある場合には、**17日**までに事務局に到着するように、余裕をもってポストに投函するようにしてください。

